

# 2006年度

すずきひでゆき  
理事長:鈴木秀幸



01

理事長としても最も重視された点をお教え下さい。

旧LOMのしきたりや文化については出来る限り主張せずに、新しいLOMとして全てゼロベースで作っていかうと何度も会議の席で発言していました。とにかく1つにまとめていくという強い意志を持って活動をしていました。

02

スローガン、基本方針を掲げた想いやそのプロセスをお聞かせください。

スローガンについては理事会メンバーみんなで作りました。基本方針に関しては、とにかくLOMをまとめる事を中心に基本方針を掲げました。所信についても同様で、当時は旧LOMの文化の違いや主張が少なからず残っていた時期で様々な衝突があったので、新しいLOMでみんなの気持ちが1つになるように心掛け作り上げました。

03

JCで学んだことの中で最も大切だと思うことはなんですか？

JCは一言で言えば、動員力だと考えています。動員力が無いLOMは失敗だと思います。特に理事長は動員力、結束力が重要となり、他団体と比較すると、集まるスピードが圧倒的に早いのがJCだと思います。

04

1年間、理事長をやり一番嬉しかったことを教えてください。

理事長の職を終えて最初の1月の京都会議に100名以上にメンバーが集まってくれたこと。理事長だった1年間は、ひたすら動いていたので、うれしかった事はあまり覚えていません。

05

今のJCと当時のJCの違いがあったら教えてください。

現在のJCマンは在籍年数が短いと聞いています。8年ぐらいいは在籍して欲しいですね。若い時に入らないと、本当の意味でJCに馴染めないのではないのでしょうか。会議、懇親会も現在と違いパワフルだったように思えます。当時は24時まで会議をして、深夜3時くらいまで懇親会をしており、先輩が帰らない限りなかなか帰り難い状況もありました。

06

過去の理事長所信等を読ませて頂き、JCは単年度制ながらも代々の理事長で伝わっているものがあるように思えました。そういったものはありましたか。

旧LOMの文化や習わし等から発生する主張はいったんゼロにしました。全てを踏襲しまとめる事は不可能な為です。もちろん、過去の文化を全く度外視するわけではありませんが、1つにまとめていくには、ゼロから作り上げる必要がありました。

07

これからのJCが果たすべき役割は何だとお考えですか？現役メンバーへのエールも同時にお願致します。

まちづくりを考えて欲しいと思います。大きなスケールで枠にとらわれなくて、青年らしい壮大な何か面白い事をして欲しいです。失敗してもまだまだ許される年なんですから。未来学園等、代々の継続事業も大事だと思うが、新しい事にチャレンジして欲しい気持ちもあります。10周年にむけて【のぞみを停めよう！】とか。もっと分かり易く静岡市民が喜ぶ事をしたらいいんじゃないでしょうか。

08

人口流出全国ワースト2の我がまち静岡の現状をどうお考えですか？

大問題だと思います。ただし、JCだけの問題ではないでしょう。やはり行政との連動でJCに何が出来るかだと思います。市民がこの問題に気付いていないのが問題なので、例えば、JCは市民に危機感を感じてもらう活動をするなどはいかががでしょうか。

09

静岡JCの歴史沿革の中に記すとした時、2006年のキーワードとして「新生静岡JC」「新たな組織作り」「未来の静岡」等があると思いますが、鈴木シニアにとってその年をひとりで表すならどのような言葉を選びますか？

すべてに「笑顔と思いやり」をもって創る。

10

3LOM合併という非常に重圧のかかる、理事長になろうと決心した最大の理由はなんですか？

天の声に従った、という感じです。そもそも、初代理事長選出については様々なシナリオがありましたが、紆余曲折があり最終的には杉山2代目と二人で、2年がかりでLOMを作っていくという流れとなりました。

11

新LOMとして何を創りたかったですか？また各LOMの歴史をどう大切に残したいと思われましたか？

代々受け継がれてきた、先輩方の想いを大事にしたかったです。そこに尽きます。

12

所信、基本方針、スローガンを拝見すると「新たな」というキーワードが多く出てきます。また、事業の内容は、対内的な交流を重視するものが多く感じられます。合併後の新LOMに期待する雰囲気と、合併に対する苦労した点を教えてください。

特に1年目、2年目は対内的な事業を重視しました。知らない人同士が集まってできた新LOMの為、まずはコミュニケーションを深めなければ委員会活動や事業の目的を達成させることは出来ないと思っていました。

## 取材全体としてのまとめ・感想

インタビューを通じて、文化や歴史、習わしなど全てが異なるLOMが合併することの大変さを知ることが出来ました。また、歴史や文化の違いによる意見や主張はそれぞれ旧LOMのプライドであり、それをゼロにし1つにまとめていく大変さや、その責任を全て背負う初代理事長の重圧は計り知れないものがあると感じました。現役メンバーは『ゼロベースから1つにまとめる！』という鈴木初代理事長の強い信念が今日の静岡JCの礎になっていることを知る事が重要であり、その信念を共感することが出来れば、今後様々な困難にも立ち向かっていける強い意識を醸成出来るかと確信できました。

## 取材前と後での特に気付いた点

取材前から合併に伴う様々な苦労があると推測していたが、予想以上でした。大きな困難を乗り越えるために、理事長自身の強い信念とそれを支える仲間が存在があったことを直接話を聞き、想いの強さや鈴木初代のお人柄を感じる事ができました。